

令和2（2020）年度 各分掌部・学部の目標及び自己評価

A…十分達成できた B…おおむね達成できた C…あまり達成できなかった

	目 標	具体的な取組	評価の観点	評価	自己評価	改善方法
教務部	・新学習指導要領の実施に向け、教育課程の見直しと必要に応じて改善を図る。	・学習指導要領を理解して教育課程を見直し、教育課程編成の基準、教育課程表及び日課時間割の見直し、改善を行う。	・新学習指導要領に合わせた教育課程の見直し、必要に応じて改善ができたか。	B	・教育課程編成の基準は、新学習指導要領の内容と本校で実施している内容を併せ作成した。教育課程表や日課時間割についても改善を行うことができた。	・教育課程と指導内容や指導計画が適正に組織されているか検証し、学校課題推進委員会と連携し改善に努める。また、授業改善につながる教員の研修の工夫と実践を進める。
学習指導部	・新学習指導要領に対応した指導計画を作成し、授業や年間計画等の改善につなげる。	・新学習指導要領に対応した年間や単元の指導計画を作成する。教師から出された授業や単元の反省を基に、授業や単元の内容を検討、改善し、次年度の計画に反映させる。	・新学習指導要領を基にした年間指導計画や単元指導計画を作成することができたか。授業や単元の反省を生かし、授業内容や計画を改善することができたか。	B	・学校課題研究とリンクして今年度作成する教科、教科等は作成することができた。2年計画のため、全ての教科、教科等の計画作成、反省を基にした改善は今年度実施していない。	・学校課題と合わせて、継続して計画の作成、内容の改善等を実施する。
児童生徒指導部	・避難訓練、引き渡し訓練等の各種訓練及び安全教育の改善、充実を図る。	・各種訓練について反省を踏まえて改善し、安全教育についても効果的な教材を取り入れ充実を図る。また、専門家からの助言をいただきながら進めていく。	・全職員の共通理解のもと、より実践的な訓練や安全教育に取り組むことができたか。	A	・交通安全教室や不審者対応訓練ではコロナ対策をして実施。緊急地震速報を利用した訓練を充実させた。 ・安全教育では防災教育を系統的に取り組めるよう年計を見直し、体験的な学習も取り入れることができた。	・見直した防災教育を引き続き実践していく。
地域支援部	・地域における本校の役割を明確にしつつ、本校事業に関する情報発信の工夫と関係機関との連携を図る。	・関係機関担当者との情報交換、体験学習等での概要説明内容の見直しや、方法の工夫、地域に向けた便りの計画的な発行を行う。	・地域のニーズの情報収集に努めることができたか。また、本校教育や支援事業についての理解を促す工夫を行うことができたか。	B	・地域の実情を踏まえ体験学習の内容の改善を行った。 ・HPの活用や、広報活動により地域への情報発信に努めることができた。	・本校事業の効果的な活用を進めるため、情報発信の工夫を図るとともに、関係機関との連携充実を継続する。
健康指導部	・感染症や熱中症予防も含め、日頃から安全な環境整備を図る。	・感染症や熱中症予防についての対策の周知徹底を図る。	・安全な環境に対する教職員の意識を高め、感染症や熱中症予防対策をすることができたか。	A	・感染症や熱中症は、県の指針を周知し、職員意識を高めながら校内の予防対策に努めることができた。	・感染症や熱中症については、今後も県の指針に沿って継続し、周知徹底を図っていく。
進路指導部	・卒業後の自立に向けた本校の取り組みについて、地域社会、関係機関等と連携を強化しながら、情報発信の充実を図る。	・地域での職場体験、就業体験等の実施や、本校の取り組みに関する記事の印刷物への掲載や作業製品の展示依頼など、関係機関や企業等に情報発信の協力を積極的に働きかける。	・積極的な働きかけにより、情報発信の機会が増え、本校の進路指導に関する取組を、地域にアピールすることができたか。	B	・就業体験等の実施を知らせるポスターの掲示や作業製品の展示を依頼するなど、地域へのアピール方法を増やすことができた。	・中・高等部の作業班と連携し、事業所訪問時に作業製品を持参するなど、さらに本校の教育活動をアピールの機会を増やしていく。

渉外部	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や同窓会、地域のPTA関係団体との連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動については、役員会・専門部報告等の配付、ホームページ等で行事予定の通知や活動紹介などを行う。他の団体に対しては、連携方法の工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動等への会員の理解が深まり、積極的な会員の参加をすすめることができたか。また、外部団体との情報共有がうまくなされたか。 	B	<ul style="list-style-type: none"> HPで役員会や専門部会、行事等の報告等を昨年よりも幅広い内容を掲載してお知らせすることができたが、どのくらい閲覧していたかを確認できていないところがある。 SPやTeamsで他校の渉外部の係同士のつながりができ、連絡・情報交換等への活用を始めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動についての情報をどこから得ているかをアンケート等で保護者の方から御意見をいただき、役員会報告などをプリントで通知することも検討していく。 令和4年度本校特教振事務局。次年度は前年度準備で他校とのやりとりが増える見込み。円滑な方法を用い、業務の負担を減らしていく。
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の活動や部活動の活動状況を保護者全般に広めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 動画やホームページを利用して、児童生徒会の活動や部活動の状況及び各種大会の結果報告等の情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を迅速に分かりやすく発信できたか。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 運動会、こぶし祭関係のお知らせや、児童生徒の活動の様子、部活動や各種大会の報告などをホームページで発信できた。 こぶし祭では、密集を避けるため動画を活用しての発表を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> もう少し細かく発信できる余地があるので、各係での活動を計画的に発信していく。 コロナウイルス感染症対応等の流行状況に応じた活動の工夫や、情報発信の仕方を今年度の実践をベースとして固めていく。
情報部	<ul style="list-style-type: none"> 教職員のICT活用をサポートし、授業、校務処理等で活用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 動画編集ソフト(shotcut)の基本的な使い方や活用方法の研修を行い、授業での実践を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会や資料などで、基本操作や活用方法を説明し、授業で実践することができたか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> こぶし祭で動画編集ソフトを使用し、発表に活用できた。また、授業において事前学習等動画編集をして視覚支援を行うなど授業での実践ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末やWi-Fi等機器の活用方法を模索し、研修や資料を提供して授業や、校務処理に活用できるようにする。
小学部	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領に対応した年間指導計画の見直しを行い、授業の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画の3項目の目標、単元指導計画の目標、学ばせたい力や指導の工夫、評価と改善点を明確にし、教員間で共通理解を図りながら指導にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間及び単元指導計画をもとに授業及び授業研究会を行い、評価や改善点の明確化を図ることにより、授業の改善につながったか。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画についての見直しを行った。生単、体育、音楽の授業研究会では、作成した指導計画の目標や学ばせたい力や指導の工夫についての意見交換を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画をもとに、今年度見直した様式を用いてより分かりやすい単元指導計画を作成し、授業改善につながれるようにする。
中学部	<ul style="list-style-type: none"> 何を、どのように学び、何ができるようになるかを明確にした指導計画を作成し、授業の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学ばせたい力、関連する教科が具体的に分かる単元指導計画を作成し、研究授業や授業研究会を行い、授業改善につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教員が、新学習指導要領に基づいた指導計画を作成し、活発な意見交換を行うことでより良い授業改善を行うことができたか。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生単、美術の単元指導計画を作成し、研修会で3学年共通する単元の系統性等を検討することができた。また、めあての提示や評価、ホワイトボードの使い方など中学部として共通理解を図りながら授業改善を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度授業担当者が変わった際に、指導計画に基づいて授業を行い、再度改善していく。また、新たに音楽、保体の単元指導計画を作成し、引き続き新学習指導要領に基づいた指導計画の作成と授業改善を図っていく。
高等部	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の完全実施(R4)に向けての前半年度と位置付け、年間指導計画や単元指導計画の見直しと授業の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領に対応した年間指導計画と単元指導計画の見直しと、その見直した計画に沿った授業の立案、実施、改善を所属教員全員で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに検討し、年間指導計画等の見直しができたか。 研究授業や授業研究会を通して授業の改善につながったか。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画の見直し担当を5グループに分け、3回の研究授業を実施し、全員で見直し検討ができた。成果を中間報告としてまとめることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、今年度の取組方法の反省を基に、残りの教科の見直し改善を図る。